

平成 23 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社コスモスイニシア
 代表者名 代表取締役社長 高木 嘉幸
 (JASDAQ コード 8844)
 問 合 せ 先 経営企画室 室長 岡村 さゆり
 (TEL. 03-3580-2680)

たな卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期におきまして、たな卸資産評価損を計上する見込みとなり、また、最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月8日に公表しました平成23年3月期通期連結累計期間（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	111,000	2,500	1,500	△700	△161.89
今回修正 (B)	101,300	1,400	700	200	△53.11
増減額 (B－A)	△9,700	△1,100	△800	900	—
増減率	△8.7%	△44.0%	△53.3%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	169,995	△4,797	△7,581	25,701	2,480.23

(2) 修正理由

不動産賃貸事業・不動産仲介事業におきましては概ね計画通りの業績となりましたが、不動産販売事業におきましては、通期で新築マンション2,224戸、戸建住宅147区画を引き渡し、3月末における新築マンションの未契約完成在庫が59戸と低水準になるなど、販売が好調に推移した一方で、土地・建物販売においては、投資不動産市場の本格的な回復には、もうしばらく時間を要する状況であり、一部都心物件の売却が翌期にずれ込んだことなどから、売上高は計画比97億円減収の1,013億円となる見込みであります。

また、不動産販売事業における事業利益率の改善などにより売上総利益が同20億円改善し、販売経費の効率的な費消及び一般管理費の削減に努めたことなどにより販売費及び一般管理費が同7億円減少する見込みであります。

一方で、前述の一部都心物件等について、たな卸資産評価損 38 億円を売上原価に計上することから、営業利益は同 11 億円減益の 14 億円、金利負担の減少に伴う営業外損益の改善などにより経常利益は同 8 億円減益の 7 億円となる見込みであります。

また、海外事業からの撤退に伴う為替影響（為替換算調整勘定の処理）等を特別損失として 18 億円織り込んでおりましたが、当社の連結子会社が当該海外事業の運営を当面継続することとなり、当該特別損失の計上がなくなることから、当期純利益は 2 億円となる見込みであります。

なお、当該海外事業につきましては、事業再生計画において撤退する方針としておりましたが、平成 23 年 4 月 25 日（本日）開催の取締役会におきまして、当該海外事業に関して、大和ハウス工業株式会社との間で、3 年後を目途に大和ハウス工業グループが当該海外事業に 85% 程度出資し、共同で事業を行うことを目的とした「業務提携に関する基本合意書」を締結することを決議しました。

今後におきましては、当社の連結子会社が当該海外事業の運営を当面継続いたしますが、出資金額及び出資方法等の詳細については、平成 25 年 12 月 1 日を目途に相互に検討・協議を開始する予定であります。

また、東日本大震災による平成 23 年 3 月期業績への影響は軽微であります。

※本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上